



第 29 回 秋田腎不全研究会

Akita Nephrology Dialysis Transplantation

テーマ「共創

多職種の知が紡ぐ、腎疾患診療のかたち」

プログラム

日 時：令和 7 年 12 月 7 日（日） 9：45 ～ 16：15

会 場：秋田市にぎわい交流館 AU 3 階 多目的ホール

〒010-0001 秋田県秋田市中通一丁目 4-1 TEL：018-853-1133

会 長：秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学 教授 羽瀨友則

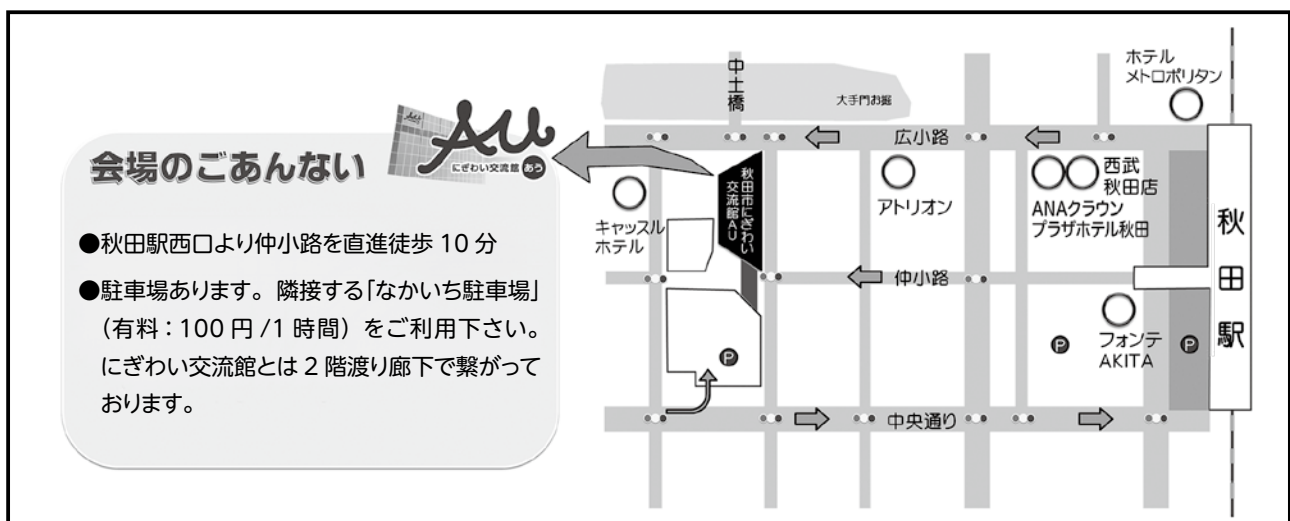
当番幹事：秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学 助教 齋藤雅也

主 催：秋田腎不全研究会

後 援：公益社団法人秋田県臨床工学技士会

ご参加されるみなさまへ

1. 参加費（懇親会費を含む）は、医師が 2,000 円、医師以外の職種（臨床工学技士・看護師・その他）が 1,000 円となります。9:15 ～、会場受付で申し受けます。参加証を着用の上、ご入場下さい。なお、マスクの着用は個人の判断に委ねることを基本と致します。学生の方は参加費免除とさせていただきます。受付に学生証を提示して下さい。
2. 座長の方は、ご担当セッション開始時間 10 分前までに、会場内の「次座長席」にご着席下さい。時間内で終了頂けるようにご指示をお願い致します。
3. 演者の方は、発表セッション開始 30 分前までに、PC 受付にお越し下さい。USB メモリでの発表データを提出、動作確認を行って下さい。
ご発表の 10 分前までに、会場内の「次演者席」にご着席下さい。
口演時間は「発表 6 分、質疑応答 3 分」です。座長の指示に従い、時間内での終了をお願い致します。発表方法は、PC を使用した Power Point によるプレゼンテーションとなります。事務局で会場に用意する PC 環境は、Microsoft Windows 11、Microsoft 365 です。Power Point 2007 以降のバージョンを使い、pptx ファイルで保存して下さい。
スライドを作成する場合は、基本的にスライドサイズを 16:9 に合わせて作成願います。Macintosh をご使用の発表者、スライドに動画が含まれる発表者はご自身の PC を持参されることを推奨致します。その際、PC の映像出力端子は HDMI が備わったものをご用意下さい。この端子がない PC をお持ち込み頂く場合には、別途変換コネクタを必ずご用意下さい。
なお、動画等の参照ファイルは必ず Power Point のファイルと同じフォルダに入れて下さい。
会場では、各演者ご自身で舞台上の機材（マウス、キーボード）を用いて、スライドの操作をして下さい。
後日、秋田腎不全研究会誌投稿用原稿を同雑誌規定に従い、図表を添えて、令和 8 年 1 月 30 日（金）までに「〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座内 秋田腎不全研究会事務局」宛に提出して下さい。
4. 臨床工学技士部門、看護師・その他部門、医師部門の三部門において各一演題ずつ、優れた発表の方に、優秀発表賞として賞状と賞金 5 万円を授与致します。また、次点の方に、準優秀発表賞として賞状と賞金 2 万円を授与致します。受賞対象は筆頭発表者が、50 歳未満の方の発表と致します。
5. 利益相反の情報開示について：発表内容が臨床研究である場合には、筆頭発表者自身の過去 1 年間における、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わる利益相反の有無をお示し頂きます（共同発表者の利益相反は開示不要。培養細胞や動物実験を使用した基礎研究に関しては対象外。）。タイトルスライドの次などに利益相反自己申告に関するスライドを加えて下さい。
6. 幹事会は、12 月 1 日（月）19:00 より Web 会議（Zoom）を用いた非対面形式において開催致します。ご参加される幹事の先生方には、メールで Web 会議ご参加用 URL と幹事会資料をお知らせ致します。
7. 公益社団法人 日本医師会生涯教育制度、生涯教育講座「2 単位」取得が可能です。
8. 一般社団法人 日本透析医学会、地方学術集会「5 単位」取得が可能です。
9. 一般社団法人 日本腎不全看護学会、慢性腎臓病療養指導看護師（CKDLN）認定「6 ポイント」取得が可能です。
10. 一般社団法人 日本腎臓学会、腎臓専門医資格更新のための「1 単位」取得が可能です。
11. 公益社団法人 日本臨床工学技士会の血液浄化専門臨床工学技士、認定制度「3 単位」取得が可能です。
12. 企業展示会を 3 階「ホワイエ」において併設致します。



I. 臨床工学技士部門

セッション1 透析機器・調査 (9:50～10:17)

座長 石井 尚之 (秋田厚生医療センター 臨床工学科)

1. 装置統合管理支援システム Miracle DMACS EX 導入による節液効果の検討

医療法人沁秋会 おのば腎泌尿器科クリニック 透析室 ○小林^{コバヤシ} 浩^{ユタカ}、工藤 麻利、小番 吏、佐藤 輝子、
渡部 瑞恵、田口 一美、河村美貴子、勝又 麻子、
水木麻衣子、渡邊明日香、吉原 優太、染谷 早苗、
伊藤 彩佳、畠山 秀平、佐藤 良延

2. 高齢者への積層型ダイアライザー使用経験

地方独立行政法人市立秋田総合病院 中央診療部臨床工学センター ○鎌田^{カマダ} 雄大^{ユウダイ}、谷 朱莉、奈良 正敬、岡崎 亨、
田中 雅徳
同 透析センター 松橋 満弥
同 泌尿器科 高橋 佳子、加藤 大、三浦 喜子、里吉 清文、
前野 淳、石田 俊哉

3. 秋田県における腹膜透析の実態調査

公益社団法人秋田県臨床工学技士会 ○小山^{オサナ}内^イ康^{ヤス}貴^{タカ}、田中 雅徳、熊谷 雄太、平塚 広樹、
小林 浩悦、大沢 元和

セッション2 バスキュラーアクセス管理・災害対策 (10:20～10:47)

座長 田中 雅徳 (市立秋田総合病院 臨床工学センター)

4. 当院透析室におけるシャント管理について ～シャント狭窄（閉塞）早期発見の取り組み～

かづの厚生病院 ME 室 ○木島^{キジマ} 真央^{マサヒロ}、佐藤 求、石川 恭子、片岡 香、
佐藤 宏樹、小田切博之、斎藤 淳嗣
同 泌尿器科 山口 剛史
同 看護科 石川 恭子、片岡 香、金澤 陽子、小田切博之、
斎藤 淳嗣

5. 災害時における有用な連絡手段の検討

社会医療法人明和会 中通総合病院 血液浄化療法部 ○庄司^{ショウジ} 裕太^{ユウタ}、三橋 梨子、今西 望、高島 俊介、
工藤 宜子、平塚 広樹、村上 亨
同 泌尿器科 齋藤 拓郎、秋濱 晋

6. 秋田県透析施設災害ネットワーク災害シミュレーション報告

公益社団法人秋田県臨床工学技士会 災害対策委員会 ○小林^{コバヤシ} 浩悦^{コウエツ}、駒ヶ嶺 健、金 辰徳、酒樹 勤、
平塚 広樹、藤谷文一郎
秋田腎不全研究会 災害対策委員 齋藤 満

Ⅱ. 看護師・その他部門

セッション3 患者支援 (10:50～11:26)

座長 佐藤 慶子 (雄勝中央病院 透析センター)

7. 移植施設から紹介元医療機関への情報提供内容の検討 ―腎移植を希望して紹介された患者の現状分析から―
秋田大学医学部附属病院 第二病棟 8階 ○瀬田川^{セタガワ}美香^{ミカ}
同 第二病棟 2階 伊藤 歩、相庭 結花、夏井 遼、鈴木 友花
同 泌尿器科 山本 竜平、森 瑞季、梶原 知佳、石田 雅宣、
降幡 研吾、齋藤 満、羽瀧 友則
同 腎疾患先端医療センター 藤山 信弘
同 血液・腎臓・膠原病内科 齋藤 雅也
8. 腎センターにおける災害訓練前後での看護師の意識の変化と今後の課題
秋田厚生医療センター 腎センター ○川田^{カワタ}真与^{マヨ}、榎 由香里、藤島 綾
9. 糖尿病性腎症 4期でもあきらめない！ ～クリニックの管理栄養士奮闘記～
たにあい糖尿病・在宅クリニック ○進藤^{シンドウ}敬子^{ケイコ}、谷合 久憲、齋藤瑠衣子
秋田赤十字病院 代謝内科 後藤 尚
やばせ内科クリニック 小山 昌平
ごてんまり訪問看護ステーション 藤沢 武秀
10. 在宅医療でも透析予防、そしてフレイル対策！ ～ご家族と一緒に介護サービス利活用！～
たにあい糖尿病・在宅クリニック ○齋藤瑠衣子^{サイトウル イコ}、谷合 久憲、進藤 敬子
秋田赤十字病院 代謝内科 後藤 尚
ごてんまり訪問看護ステーション 藤沢 武秀
定期巡回 naniku24 石塚久美子

■特別講演1 (11:30～12:00)

共催：キッセイ薬品工業株式会社

座長 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学 教授 羽瀧 友則

『皮膚科からみた透析のかゆみ』

ちとふな皮膚科クリニック 院長 江畑^{エバタ}俊哉^{トシヤ} 先生

■特別講演2 (12:00～12:30)

共催：キッセイ薬品工業株式会社／株式会社三和化学研究所

座長 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学 教授 羽瀧 友則

『骨代謝からみた CKD-MBD とカルシミメティクス』

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学分野 教授 山本^{ヤマモト}卓^{スグル} 先生

■ランチセミナー (12:35 ~ 13:35)

共催：協和キリン株式会社

座長 秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学 助教 齋藤 雅也

『保存期と透析導入期のシームレス腎性貧血治療』

国家公務員共済組合連合会 東北公済病院 腎臓内科部長 (兼) 透析センター長 ^{アンドウ}安藤 ^{シゲキ}重輝 先生

■第 13 回 秋田腎不全研究会奨励金「受賞発表」(13:40 ~ 13:50)

座長 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学 教授 羽瀨 友則

『当院と関連施設における腎生検症例の血清 M 蛋白陽性率と MGRS 症例の頻度についての検討』

秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座 ○坂口 ^{サカグチ} ^{マイ}舞

■第 14 回 秋田腎不全研究会奨励金「表彰」(13:50 ~ 13:55)

『尿毒素が膀胱機能に与える影響についての検討』

秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座 ○梶原 ^{カジワラ} ^{チカ}知佳

Ⅲ. 医師部門

セッション 4 バスキュラーアクセス・合併症 (14:00 ~ 14:45)

座長 高山孝一朗 (由利組合総合病院 泌尿器科)

11. シャント肢に生じた中心静脈狭窄に対してバルーン拡張術を施行した一例

北秋田市民病院 泌尿器科

同 循環器内科

○吉田 ^{ヨシダ} ^{タカミチ}昇修、小峰 直樹
佐藤 誠

12. Bacilic vein transposition が有効であった VA 再建困難例

能代厚生医療センター 泌尿器科

○佐々木 ^{ササキ} ^{ヨシキ}禎、高橋 誠、提箸隆一郎

13. 慢性完全閉塞性病変による静脈高血圧症に対してシャントーシャント間の再吻合術が有効であった一例

平鹿総合病院 泌尿器科

○五十嵐 ^{イガラシ} ^{リョウマ}龍馬、三浦 宇拓、阿部 俊、鈴木 丈博

14. 大伏在静脈グラフトを利用した左鎖骨下動脈-左腋窩静脈内シャントを作成しえた血液維持透析患者の一例

秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座

○関根 ^{セキネ} ^{ユウヤ}悠哉、齋藤 満、梶原 知佳、佐藤 博美、
小林 瑞貴、山本 竜平、成田伸太郎、羽瀨 友則

15. 下肢切断術を行った透析患者 13 症例の検討

市立秋田総合病院 泌尿器科

○高橋 ^{タカハシ} ^{ヨシコ}佳子、加藤 大、三浦 喜子、里吉 清文、
前野 淳、石田 俊哉

16. 2次生体腎移植後にパルボウイルス感染に伴う赤芽球癆を発症した一例

秋田大学医学部附属病院 泌尿器科 ○^{カミムラ}神村 ^{ナオキ}直樹、齋藤 満、船越 佑大、森 瑞季、
武藤 弓奈、関根 悠哉、佐藤 博美、小林 瑞貴、
山本 竜平、成田伸太郎、羽渕 友則
同 血液内科 長尾 貴代

17. 腎移植ドナーに発生した尿管結石症の一例から考える、当地域での腎移植患者管理

独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター 泌尿器科 ○^{アオヤマ}青山 ^{ユウ}有、保田 彩花、市村 靖、飯沼 昌宏

18. 腎動脈5本と重複下大静脈を有する生体腎移植ドナーの1例

秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座 ○^{フリハタ}降幡 ^{ケンゴ}研吾、山本 竜平、梶原 知佳、森 瑞季、
石田 雅宣、関根 悠哉、佐藤 博美、小林 瑞貴、
齋藤 満、成田伸太郎、羽渕 友則

19. 血液透析患者における造影剤アレルギーの検討

由利組合総合病院 泌尿器科 ○^{ノザキ}野崎 ^{ソウ}壮、高橋 修平、木村知奈美、高山孝一郎

20. 当院におけるパチロマーソルビテクスカルシウムの使用経験

大曲厚生医療センター 泌尿器科 ○^{ナダオカ}灘岡 ^{ジュンイチ}純一、仲田 寿成、小泉 淳、神崎 正俊、
熊澤 光明

■総会 (15:30～15:45)

会 長 羽渕 友則

■事務局からのお知らせ (15:45～16:00)

秋田腎不全研究会 事務局長 齋藤 満

■優秀発表賞の発表 (16:00～16:10)

当番幹事 齋藤 雅也

■閉会の辞 (16:10～16:15)

副 会 長 大谷 浩

■懇親会 (16:20～) 4階 研修室2